



第101号

2016.1.25 発行
(平成28年)

ユウパリコザクラの会
事務局

〒068-0412

夕張市鹿の谷東丘町 3

水尾君尾方

TEL/FAX 0123-52-3306

携 帯 090-8632-8928

E-mail
kozakura@m8.dion.ne.jp

ホームページ
<http://yuparikozakura.org/>

ようこそ花の夕張岳へ

寒中見舞い申し上げます。

雪の少ない十二月・一月ですが、いかがお過ごしでしょうか。

昨年は五月から十一月まで、七か月間ヒュッテ炊事棟建設に明け暮れましたが、並行して予定された自然保護活動、次世代育成事業等々実施でき、充実した一年でした。

十二月に二回、一月に二回とヒュッテの様子を見に行きましたが、健在そのものでした。心配された母屋と炊事棟の間の雪も思ったより堆積しておらず、また完璧な冬囲いが功を奏し、昨年のような窓ガラスの破損もありません。

今年も炊事棟の外装、内装の工事にかかります。また母屋と違い水回りの工事がありません。皆様の協力を得て市営夕張岳ヒュッテにふさわしい立派な建物の建設を目指したいと思います。

さて我会も発足して四半世紀が過ぎました。ひつくるめていうと短いようですが、個々想い出すと長くも感じられます。活動の軸が「開発から夕張岳を護る」・「自然保護活動」・そして「次世代の育成」と移ってきました。主軸ではありませんが世の中に一番インパクトを与えたのは、夕

張岳ヒュッテの建設とします。これら数々の活動が認められこの度日本自然保護大賞・沼田賞をいただくことになり、二月七日東京での授賞式に水尾事務局長と一緒に参ります。

会員の弛まぬ努力と情熱のたまものと思っております。またそれにも増して全国の夕張岳を支援してくださる皆様のお蔭と深く感謝しております。

年頭に寄せて

代表 藤井 純一

ます。ちなみに第一回の受賞者は小野有五さん、第七回は佐藤謙さん。そして我会は第十五回です。該当者がいない回があつたので十四回のうちユウパリコザクラの会関係が三回受賞しています。これは凄いいことだと思えます。この賞を励みに旧来にも増して夕張岳の自然保護と文化遺産を次世代に引き継ぐための保全活動を推進していきたいと思えます。



白銀に輝く夕張岳

昨年は全く大事に至りませんでした。二件ほど作業事故がありました。身体の動きは昔と全く違います。「無限の体力、僅かな知能」をキヤッチフレーズに生きてきた私にとつて老いを感じています。今の自分の身体を認識し怪我のない工事、保護活動を心がけたいと思えます。

今年度も夕張岳の高山植物盗掘防止パトロールの際に、登山道沿いにあるエゾシカの痕跡を記録しました。採食痕のある植物は例年の傾向通り、チシマアザミ、エゾアジサイ、ミネカエデ、オニシモツケ等でした。また季節的に採食痕が変化してまいりました。シカはほとんどの植物を食べることができ、さすが、季節毎に採食する植物を変え、その季節が「旬」のエサを求めて生活していることが伺えました。

夕張岳の高山帯ではエゾシカによる影響を排除した簡易防鹿柵を継続的に設置し、希少高山植物を保護すると同時にエゾシカによる採食や踏み付けによって高山植生がどのように変化するかをモニタリングしてまいります。簡易防鹿柵(1.3m×1.3m)は第二崩壊地のユウバリソウ群落、エゾコウボウ群落、タカネヒメスゲ群落にそれぞれ一基、アサツキ湿原のイワイチヨウ群落にそれぞれ一基を設置しています。夏季には北海学園大学の佐藤謙先生の指導のもと柵の内外部で植生調査を実施し、種組成や植生高などを比較しました。その結果、アサツキ湿原の



イワイチヨウ群落では、イワイチヨウがシカの採食や踏み荒らしにより被度が低下し、矮小化していました。今後のモニタリングによって、種組成がさらにどのように変化するか、簡易防鹿柵で保護した場合、植生は回復するのか、などのデータを継続して記録することにより、高山植生が持つエゾシカ等動物への耐性などを研究する貴重なデータを取得していきたいと思えます。さらに、簡易防鹿柵の設置個所や面積を変化させることで、どのような植生にはどのくらいの面積や数量の簡易防鹿柵を設置するべきなのか検討していく必要

平成二七年度 夕張岳エゾシカ調査、無事終了

会員 杉浦 晃介

要があります。

簡易防鹿柵の他に、高山帯における野生動物の生息実態を記録するための自動撮影カメラを設置しました。今年度は北海道新聞野生生物基金の助成を受けて購入した五台を前岳湿原、ガマ岩、第二崩壊地、アサツキ湿原、釣鐘岩周辺に設置しました。設置期間は六月末から九月末までの約九〇日間です。データを集計したところ、すべての地点でエゾシカは撮影されており、過年度の撮影結果と同様に仔シカを伴って採食しながら移動している様子が撮影されています。



した。今後は夕張岳ヒュッテのある山地帯から高山帯にかけて広範囲にカメラを設置し、標高別にみたエゾシカの行動や群れの構成の変化などに注視したモニタリングを実施していきたいと考えています。また、ヒグマも毎年撮影されていることから、夕張岳の高山帯を積極的に利用している時期を把握し、登山者へ注意喚起するためのデータとして活用していきたいと思えます。

今年度も酪農学園大学・野生動物保護管理理学研究室所属の松岡洋美さんはじめ多くの学生が調査へ協力してくれました。学生の力なしでは遂行できない活動となつていきます。また、多くの会員の方々の協力により、安全かつ円滑に調査を進めることができました。特に九月末の撤去作業の際には、雷雨という最悪の状況での作業になりましたが、秋元氏、菊地氏両会員のサポートにより無事下山することができました。身に沁みました。これからも夕張岳の自然を語り継ぐ活動へ微力ながら貢献していきたいと思えます。



今年四回目の夕張岳登山。今回は金山ルート視察という事で、交差縦走を企画した。コザクラ会バトロール部長の伊藤さんパーティが金山から登ってきて大夕張ルートへ降りるので、自分たちはその逆の大夕張ルートから登って金山ルートに下山する。待ち合わせはおおよそ十時三〇分山頂であったが、大分早く到着してしまったので、先行して金山分岐まで降りて、金山ルートに入る。分岐からいきなり道は細く険しい。特に本峰をトラ

会員 菊地 宏治

登山道は比較的整備させた感じで登りやすかった。何箇所か倒木があり切り除いた方がよいところもあった。そんな登山道も吹き通し近くになってくると笹やぶのなか。登山道も悪化し歩きづらくなってくる。花はいくつか咲いていたけど群落となっていたのはトリカブト。白花のトリカブトも咲いていた。ここでちよつと横道にそれてトリカブトについて。トリカブト（烏兜）の名の由来は、古来の衣装である烏帽子、またはにわとりの鶏冠（とさか）から来ているらしい。毒は全草（特に根）にあり、養蜂家はその辺を留意して蜂蜜を作っているらしい。そんなトリカブトや可憐なユウバリリンドウを見ながら約五時間で吹き通し到着となった。前回登山時は九月だったせいもありイワツツジの実を多く見かけたが今回は見ることができず。今回は四名でおしゃべりをしながら楽しい登山でした。たった一人だとひたすら黙々と登る感じだ。それにあの熊のフンをみると鈴を2・3個付けさらに笛を吹きながら登りたくなる。



金山コースは六年振りだ。そして登りは初めて。JR金山駅近くの駐車場で前泊し登山に備える。国道沿いには立派な夕張岳登山口入り口の立て看板がある。翌朝約二分林道を進み登山口に着。以前、夕張岳登山口と書いた木柱があったが今は無い。比較的登りやすい登山道をゆつくりと登る。夕張岳を登っている感じはない。植生が違うのか同じ山とは思えない。蛇紋岩がないせいだろうか。その代わりに、熊のフンが多い。それも出来立てのフン。そして掘り返し。何を取っていたのか熊たちは。そんな登山道。コザクラの会で設置した「頂上まであと何キロ」と書いた看板は全部で七か所確認する。中には何を写しているのか判別できなくなっているのもあった。

会員 伊藤 泰弘

平成27年度第3回森林バトロール(8月23日)は、暫く実施していない金山コースも交差縦走で巡視しようということになり、伊藤、大嶋、阿部会員+1が金山側から、秋元、菊地会員が夕張側から入山した。

この数年、大夕張金山交差縦走は年度計画での実施がなかなか出来ずに居て個人的にも久びさのロングランに挑めるとあり懐かしい。全長9.5kmにも及ぶこのコースは、登山名簿から月に数名と大夕張ルートとはかなり少ない現状。自然が美しいまま荒れた状況かと思いきや登山口付近は意外にも綺麗に笹刈されていて駐車スペースも数台が可能。左右には十梨別川とエバナオマンドシユベツ川の沢音。取り付きからの細尾根も良く整備されていきました。標高881mよりチシマ笹をかぶつての歩きが続き熊さんの生々しい糞もチラホラ。程よい起伏の後、小夕張岳手前の古い鎖場も健在だが出来れば上部のしっかりとした木に支点をとり安全に通過したい。天気に恵まれるとこの地点は頂を仰げるビューポイントだが本日は残念ながら、1300mのお花畑付近には小さいながらオノエリンドウに似たユウバリリンドウ?がもうダメかなあと思っただけに嬉しいプレゼント!。名残のホソバトリカブト等にも逢え収穫大!

会員 大嶋 悠子

この数年、大夕張金山交差縦走は年度計画での実施がなかなか出来ずに居て個人的にも久びさのロングランに挑めるとあり懐かしい。全長9.5kmにも及ぶこのコースは、登山名簿から月に数名と大夕張ルートとはかなり少ない現状。自然が美しいまま荒れた状況かと思いきや登山口付近は意外にも綺麗に笹刈されていて駐車スペースも数台が可能。左右には十梨別川とエバナオマンドシユベツ川の沢音。取り付きからの細尾根も良く整備されていきました。標高881mよりチシマ笹をかぶつての歩きが続き熊さんの生々しい糞もチラホラ。程よい起伏の後、小夕張岳手前の古い鎖場も健在だが出来れば上部のしっかりとした木に支点をとり安全に通過したい。天気に恵まれるとこの地点は頂を仰げるビューポイントだが本日は残念ながら、1300mのお花畑付近には小さいながらオノエリンドウに似たユウバリリンドウ?がもうダメかなあと思っただけに嬉しいプレゼント!。名残のホソバトリカブト等にも逢え収穫大!

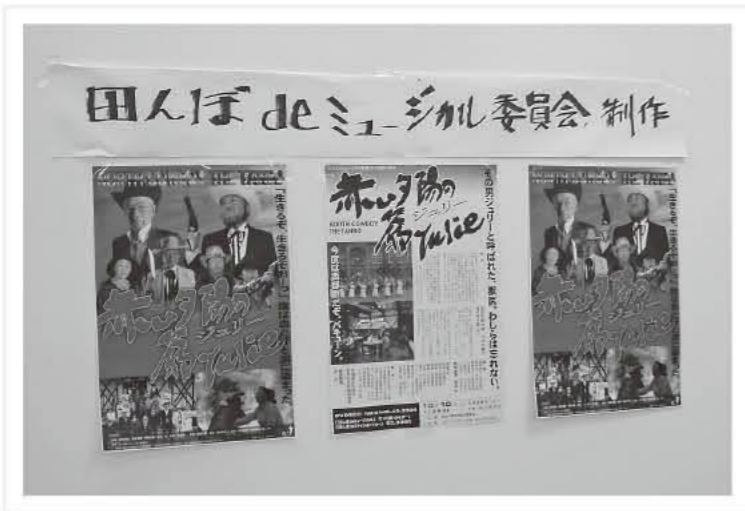


「富良野芦別道立自然公園」指定六〇周年記念事業

(夕張市多世代間交流促進事業その2)



斎藤征義さんと二大女優のトークショー



「赤い夕陽の爺 julie ジュリー」ポスター

「南極」講演会と映画上映会

一〇月一〇日、「富良野芦別道立自然公園」指定六〇周年記念（夕張市多世代間交流促進事業）の講演会と映画会を夕張市民研修センターにおいて開催しました。

夕張岳の高山植物は多くの学者により研究され、一九一三（大正二年）「ユウパニコザクラ」が英国で報告された以降も固有種の発表が続き、花の名山と言われるに至りました。

一九五五（昭和三〇）年四月、「富良野芦別道立自然公園」に指定され昨年六〇周年を迎えました。夕張岳の自然を未来永劫残して行こうとの思いで、雪氷研究者の藤井理行氏（元第三二次南極観測越冬隊長・前国立極地研究所所長）の講演「南極から北海道の自然環境を考える」とむかわ町穂別区の高齢者集団による手造り映画「赤い夕陽の爺 julie」を上映、続いて斎藤征義（脚本家・穂別区）氏と「田んぼ de ミュージカル実行委員会」の女性二人による、手造り最終版映画制作中の裏話トークが披露されて笑いを誘いました。



藤井理行氏が南極の話し



「お花畑は、いま：2015」 高山植物保護ネット

市民フォーラム開催

二〇一五年十一月十四日、北海道大学の環境科学院教室において二〇一五年度のフォーラムが開催されました。

講演は、「千島列島の植物」と題して高橋英樹（北海道大学総合博物館教授）と「北米大陸植物紀行」と題して大原 雅（北海道大学地球環境科学院教授）がそれぞれ多数の写真を投影しながら興味深いお話を紹介されました。若手研究者による研究事例としては「多様な花をつけるイブキスミレの繁殖生態」と題して篠原 義典（北海道大学 環境科学院）さんが、イブキスミレが他のスミレ属植物と異なる着生様式によってニタイプの開花をつけることの調査を報告されました。

地域からの現状報告では、「大雪山高山帯マールハナバチ種調査」、「雨竜沼湿原の今日この



頃」、「アポイファンクラブの二〇一五年度事業報告」、「礼文島における高山植物保護活動」など。当会は杉浦会員が二〇一五年度の活動を報告しました。



日本自然保護大賞・ 沼田眞賞受賞

沼田眞賞受賞

昨年一二月九日、日本自然保護協会から名誉ある、沼田眞賞の受賞連絡がありました。大手企業による夕張岳スキー場建設計画に反対して発足した当会の、四半世紀以上に亘る自然保護と文化遺産を次世代へ引き継ぐための保全活動を評価していただいたものと光栄に思います。

この賞は第一回（平成一三年）で、当会発足に関わった小野有五氏（北大教授・当時）が受賞、第七回（平成一九年）には、今も活動を共にしていた佐藤謙氏（北海学園大教授、道自然保護協会長・当時）が受賞された名誉あるものです。我々の様なボランティアの会には身に余る大賞であり、身が引き締まる思いです。

来る二月七日、日比谷コンベンションホールでの授与式へ藤井代表と水尾事務局長が出席します。

青い屋根の炊事棟

会員 五十嵐 康成

二〇一四（平成二六）年から始まった炊事棟建設にはヒュッテ開き（六月二一日）以降携わった。既に基礎工事が始まっており、手掘りでコンクリート柱の埋設が進められていた。柱を立てる所に深さ一m程の穴を掘り、大小の石を敷き詰め鉄筋を入れた直径三〇cmのボイド管（紙筒の特大版）にコンクリートを流し込んで二三本のコンクリート柱を埋設。（詳細は、「こざくらだより第九八号河村さんの「穴」という作品を創る」を参照）。

その後、柱を立てる土台の基礎木枠を組んで、床となるベニヤ板を全面に張って越冬。平成二七年雪融けを待つて再開。当初は基礎木枠のホソ穴、柱のホソなどの加工に追われなかなか柱が立たなかつたため、炊事棟全体をイメージできない状況だった。

柱のない土台はヒュッテ開きで演芸舞台に活用できたが、柱が立たないと炊事棟は建たないという危機感から「雪が降る前に屋根を張る」と目標を立てて、エンジン全開。

それからは二〇本の柱を立て、二・三階部に相当する箇所の梁、一階の壁の筋交、棟柱、たる木の足場組み、三角屋根の梁、屋根のベニヤ張り等々、一連の作業が皆さんの協力ですべて進み、十月上旬には「青い屋根」が出来上がった。その後、越冬するために仮壁、

会のうごき

- 8月
 13~14日 エゾシカモニタリング調査 佐藤 謙教授 他2名
 23日 第三回森林パトロール 夕張口~金山口交差縦走 2名+3名(+1名)
 24日 木道補修 (お花畑 空知総合振興局)
 31日 空知総合振興局、森林管理署訪問 道立自然公園指定60周年記念行事協力要請
- 9月
 4日 北海道局地豪雨により駐車場~ヒュッテ道崩壊 人力緊急補修 2名
 15日 市教育委員会訪問(ヒュッテ現況、記念事業について)
 19~20日 北海道保護連合交流会(土幌町ヌブカの里 5団体) 当会2名
 26~27日 第4回森林パトロール6名 協力 酪農学園大学生4名 コースロープ撤収、カメラ・防鹿柵撤収、食痕調査
 27日 役員会、編集会議 7名
- 10月
 3日 札幌 夕張会(ホテルノースシティ) 2名
 5日 9月4日崩壊の駐車場~ヒュッテ道補修(地元企業 永井組)
 5~7日 新炊事棟の屋根トタン張り施工(永井組)
 10日 富良野芦別道立自然公園指定60周年記念事業(市多世代間交流促進事業)記念講演会・記念映画上映会・記念トーク
 市民研修センター 入場者70名
 11日 第5回森林パトロール 7名
 24~25日 ヒュッテ冬仕度 10名
 31日~11月1日 資材搬入 5名
- 11月
 7日 役員会、編集会議 8名
 14日 北海道高山植物保護ネット主催 市民フォーラム (北大構内) 6名
 21日 資材搬入 3名
 28日 役員会、編集会議 6名 平成27年納会 13名
- 12月
 9日 日本自然保護大賞・沼田眞賞 受賞決定 市教育委員会訪問(報告)
 26~27日 ヒュッテ歳末パトロール 積雪状況調査・林道状況調査 9名
- 2016年1月
 6日 夕張商工会議所新年交礼会 (ホテルシューパロ) 1名
 12日 夕張青年会議所新年交礼会 (ホテルシューパロ) 1名
 16~17日 ヒュッテパトロール 積雪状況調査・林道状況調査 2名

隙間を塞ぎ、雪囲いをして、今シーズンの作業を終了。
 実際に炊事棟として利用するには、一〜二年要すると思
 います。その間に皆さんと意見交換しながら流し台、物品庫
 掘り炬燵付き談話室、風呂場、ロフト、ピザ窯、水車：等々
 の整備に関わり『青い屋根の炊事棟』の完成を目指したい
 と思っております。

歳末ヒュッテパトロール

会員 秋元 和之

年の瀬も押し
 迫った二六(土)
 二七(日)、事務
 局長夫妻にも参
 加いただき
 ヒュッテパト
 ロールが敢行された。
 荒れ模様の予報でしたが、参加された皆様の一年の行い
 を振り返るような新雪・無風の好天に恵まれ、国道駐車場
 を出発した。

前週から代表藤井さんとーさんが道ならしをしていただ
 いたおかげでスノーモービルも快調に進む、スキー歩きを
 覚悟していたAさんOさんは満面の笑みでロープにしがみ
 つき、無事ヒュッテに到着した。

早速テラス周りやトイレまでの雪をかき、安着祝いで宴
 の幕が下ろされた、TさんとDr Sは望岳台あたりまで散歩
 と洒落込む。

ぼたん鍋を初めとして豪華な料理
 が並び、舌鼓を打ちつつも早々に
 シュラフにもぐり込む、夜半に起き
 だした五人が月明かりに照らされた
 フライパンを覗き込む、大きなネズ
 ミが居たとか居なかったとか。
 新年早々の雪下ろしは無い予定と
 のことですが、安心してください、
 落ちてます。

それでは皆様、今年も良いお年で
 ありますように。



一昨年が続いて「北海道の山メーリングリスト」様から

「最新版北海道雪山ガイド」 印税の一部が
 (北海道新聞社 2015年11月28日発行) 寄付されました。

現在進行中の炊事棟建設やヒュッテトイレの改修などへ
 役立たせていただきます。ありがとうございました。



今後の活動予定

アポイ岳 フォーラムの ご案内

ユウパリコザクラの会と姉妹関係にある、「アポイ岳ファンクラブ」がフォーラム「花の山“アポイ”の保全再生～アポイから世界へ発信～」を開催します。

日時 平成28年2月27日(土)
13時30分～

場所 道新ホール
(札幌市中央区大通西3丁目
道新ビル大通館8階)



会費の継続納入・ご寄付 ありがとうございます

夕張岳の自然に興味のある方、当会の活動に関心をお持ちの方は、ユウパリコザクラの会へ入会又はご寄付をよろしくお願いいたします。

年会費 2,000 円 家族会費 3,000 円
名義 ユウパリコザクラの会
ゆうちょ口座 02780-9-43747

ヒュッテ屋根の雪下ろし

ヒュッテやトイレ周辺の積雪状況調査・雪下し等行いますのでご協力をお願いします。

日時 平成28年2月20日(土)
～21日(日)

参加できる方は、
藤井代表 ケイタイ 090-1642-8684
又は事務局へお申し出ください。

夕張岳春山パトロール

夕張岳積雪状況、スノーモービル痕等
パトロールを行います。

日時 平成28年3月19日(土)
～21日(月・祝)

参加希望の方は装備等について
事務局へ問合せ・申込みください。

(予告) 平成28年度総会

会が発足して28回目の総会となります。日本自然保護協会の名誉ある「沼田 眞賞」を受けた記念の総会となります。会員皆様多数の出席をお願いします。

日時 平成28年5月14日(土)
10時～12時

会場 夕張市民研修センター

引き続き 夕張岳ヒュッテ 炊事棟建設にご支援を!!

平成27年4月～平成28年1月15日現在
174口 470,755円 ありがとうございます。
新炊事棟のトタン屋根は素人のボランティア
では手に負えないので業者へ発注しましたが、
この100万円余が不足しています。今一度のご
支援をお願いいたします。

名義：夕張岳ヒュッテ管理運営委員会
ゆうちょ口座：02750-6-97634